令和7年2月18日

所長裁定

本ポリシーは、情報・システム研究機構(以下、機構)における研究データ管理・公開ポリシーに基づいて、国立遺伝学研究所(以下、研究所)における研究データの管理・公開に関する方針を定める。その目的は、責任ある研究データの管理・公開を可能な限り実現し、学術の継承と発展に寄与することにある。

1. 研究者の定義

本ポリシーにおいて、研究者とは、機構の職員、学生、外来研究員など研究所において研究活動に携わる全ての者をいう。

2. 研究データの定義

本ポリシーにおいて、研究データとは、研究者によって取得、生成されたデータを指し、デジタル／非デジタルを問わず、研究課題等の関連資料も含む。

3. 研究データの管理・公開に関する基本的な考え方

研究所と研究者は、協力して、研究データを管理し、研究データの長期的な共有・公開を行う責務を有する。手続きの詳細は、「国立遺伝学研究所 研究データの保存・開示に関する取扱いについて」にて定める。研究所が組織的に整備するデータは、研究所のセンター等にて定める方針に従う。共同利用等の外来研究者は、上記に加えて本務先のポリシー、及び共同利用の際に課される条件等を遵守する。

4. 研究者の退職・採用等に関わる対応

研究者が機構に採用される場合又は退職・異動する場合、研究所と研究者は、協力して、当該研究者によって取得、生成されたデータに対し、機関として責任ある研究データの管理・公開が継続されるように努める。

5. 関連法令等の遵守

研究者は研究データを管理・公開するにあたり、法的及び倫理的要件を遵守するとともに、常に最新の情報把握に努める。

6. ポリシーの見直し

本ポリシーは、研究データを取り巻く国内外の環境の変化に応じて、適宜見直すものとする。